



平成29年4月4日

各 位

会 社 名 株式会社ワンダーコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 高 田 修
(JASDAQ・コード番号: 3344)
問合せ先 取締役管理副部長 塚 田 英 雄
(TEL: 029-853-1313)

特別損失の発生、繰延税金資産の取崩し、業績予想の修正及び配当予想の
修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、特別損失の発生、繰延税金資産の取崩しが発生したこと、並びに平成29年2月23日に公表した業績予想と配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

平成29年2月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 74,000	百万円 △400	百万円 △200	百万円 △400	円 銭 △76.32
今回修正 (B)	74,000	△470	△270	△1,130	△209.88
増減額 (B-A)	±0	△70	△70	△730	—
増 減 率	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年2月期)	78,462	△557	△452	△765	△146.11

2. 修正の理由

平成29年2月期の連結業績予想につきましては、利益面において、WonderG00事業におけるキャラクター文具の不動産在庫評価損や新星堂事業での音楽・映像ソフトの処分に伴う損失が発生したことなどから、営業利益、経常利益が低下する見通しとなりました。さらに、1月、2月の業績が想定を大幅に下回り、特にWonderG00事業と新星堂事業の店舗収益が低下したことから、特別損失として店舗の減損損失が約3億円発生し、ワンダーコーポレーション単体における法人税等調整額において繰延税金資産の取崩しが約3億円発生したことから、親会社株主に帰属する当期純利益においても予想を下回る見通しとなりましたので、平成29年2月期の連結業績予想を修正するものであります。

3. 配当予想の修正

基 準 日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
前回予想(平成28年4月7日)	0円	25円	25円
今回修正予想	—	10円	10円
当期実績(平成29年2月期)	0円	10円	10円
前期実績(平成28年2月期)	0円	25円	25円

修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を重要課題の一つとして位置付け、事業の拡大による収益向上、安定的な経営基盤の確保に努めると共に、内部留保の充実などを勘案しつつ業績に応じた適正、かつ継続的な利益配分を行うことを基本としております。

当期の配当につきましては、本日発表の上記業績予想と今後の経営環境を勘案し、期末配当予想を1株当たり25円から15円引き下げた10円に修正させていただきます。

(注) 本業績予想及び配当予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績及び配当等は、業況の変化等により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上